

箱作自然海岸クリーンアップ探鳥会

2026. 4. 11

～ 海洋プラスチックから海鳥を守ろう！ ～
野鳥や自然のために私たちができることは・・・
海岸のゴミをみんなで拾って、クリーンアップ！
春の一日、どんな鳥たちに出会えるでしょうか。



日本野鳥の会大阪支部
阪南市「自然と本の会」
共催イベント

車利用の方は
駐車場から歩いて移動



電車利用の方は
9:40 南海電車「箱作」
駅前

集合場所

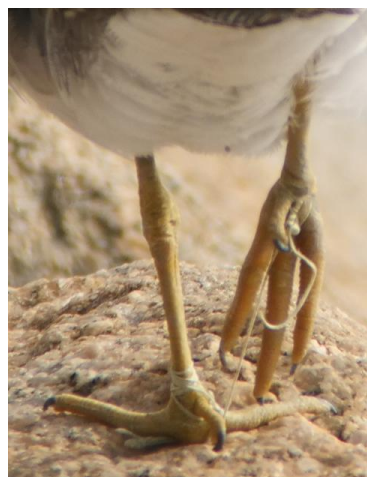
海岸まで
歩いて移動



- 10時から1時間程度、箱作自然海岸でゴミ拾いをを行います。
- その後、せんなん里海公園に移動し、バードウォッチング、海鳥とプラスチックごみに関するお話をします
- 解散 現地 12時半予定 解散後は各自、自由に春の海辺を楽しんでください

■箱作自然海岸について

陸側にコンクリートの堤防がない、大阪に残された貴重な自然海岸です。大阪湾岸には、かつてはこのような自然の浜辺が続いていましたが、埋立てによりその多くが失われてしまいました。また湾奥部に広がっていた自然の干潟も埋め立てられ、シギやチドリなどの渡来できる環境が失われてしまいました。日本野鳥の会大阪支部では大阪湾岸でのネイチャーポジティブ(自然再興)の実現を目指し活動しています。



アホウドリ

日本を代表する海鳥・海鳥の多くが海水面に浮かぶプラスチックごみをエサのイカ類などと間違えて飲み込んでしまいます。体内に入ったプラスチックごみの影響でたくさんの海鳥が命を落としています。

大阪湾ではアホウドリのような外洋性の海鳥に会う機会はほとんどありませんが、海はつながっているためプラスチックごみは世界中の海にひろがっていて、海鳥たちに大きな影響を与えています。

大阪湾岸で釣り糸の被害によくあう鳥

- ・シギやチドリの仲間 (写真はキアシシギ)
- ・カモメの仲間
- ・カモの仲間 **釣り糸や釣り針を見つけたら拾おう**

■男里川探鳥会に参加しよう 毎月第4土曜日 南海本線「樽井駅」改札前 9時30分集合

河口付近は大阪湾に残された数少ない自然の干潟が残されており、干潟には多くの底生動物(ベントス)が生息しており、それらをエサとするシギやチドリ類、カモ類、カモメ類などが多く飛来し、渡り鳥の集団渡来地としても重要な場所で、四季を通して多くの生き物たちと出会うことができます。

12:00 現地解散 又は昼食後、尾崎駅へ向かい 14:30 解散 (いずれも可) 事前申し込み不要 自由参加
参加費 日本野鳥の会会員 100 円、非会員 300 円 ※ただし高校生以下は無料、大学生は 100 円

チェックリスト 見た鳥をチェックしよう 2026.4.11 箱作自然海岸周辺

No	チェック	種名	区分	No	チェック	種名	区分
1	○	ヒドリガモ	●W	26	○	ミサゴ	OR
2		カルガモ	●R	27	○	トビ	OR
3		コガモ	●W	28		コゲラ	●R
4		ホシハジロ	●W	29		チョウゲンボウ	OR
5		ウミアイサ	△W	30		ハヤブサ	▲R
6	○	キジバト	●R	31	○	モズ	OR
7	○	オオバン	●W	32	○	ハシボソガラス	●R
8		カンムリカイツブリ	○W	33	○	ハシブトガラス	●R
9	○	コチドリ	○S	34	○	シジュウカラ	●R
10		シロチドリ	△R	35		ヒバリ	OR
11		チュウシャクシギ	○T	36	○	ヒヨドリ	●R
12		キョウジョシギ	○T	37	○	ツバメ	●S
13		ハマシギ	○W	38	○	ウグイス	●R
14	○	イソシギ	OR	39		メジロ	●R
15		キアシシギ	○T	40	○	ムクドリ	●R
16		ユリカモメ	●W	41	○	ツグミ	●W
17	○	ウミネコ	OR	42	○	イソヒヨドリ	●R
18	○	セグロカモメ	○W	43	○	スズメ	●R
19		オオセグロカモメ	▲W	44	○	ハクセキレイ	●R
20		コアジサシ	OR	45		セグロセキレイ	●R
21		ウミウ	△W	46	○	ビンズイ	○W
22	○	カワウ	●R	47	○	カワラヒワ	●R
23	○	アオサギ	●R	48		シメ	○W
24		ダイサギ	OR	49		ホオジロ	●R
25	○	コサギ	OR	50	○	アオジ	●W

[区分] ●普通 ○少ないが普通 ▲少ない R:留鳥 S:夏鳥 W:冬鳥 T:旅鳥

メモ

